

題材 「じょうずなはしのつかいかたについてかんがえよう！」

対象：小学校低学年

題材設定の背景

最近、食が乱れてきていると言われるが、日本の食文化であるはしについても例外ではない。正しいはしの持ち方や使い方、はしに関する正しいマナーについて知らない大人もいる。一般の人の食事の回数は、1年におよそ1000回程度で、その半分以上ははしを使うことになる。よって、正しいはしの持ち方や使い方については、できるだけ早い時期から指導をしていきたい。また、はしが日本の文化であることについても知らせたい。

ねらい

はしを使う日本の文化やマナー、正しいはしの持ち方について知るとともに、これからの生活において正しくはしを使おうとする態度を育てる。

	活動の内容	主な指導・支援
活動の開始	<p>世界の食事と日本の食事の様子とを比較することにより、はしは、日本の文化であることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はしを使わない国もある</li> <li>・国によって食事の仕方が違う</li> <li>・昔からはしを使って食事をしてきた</li> <li>・日本人は手が器用なのははしのおかげなのか</li> </ul> <p>自分のはしの持ち方や使い方、マナーは大丈夫か考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・だいたいうまくできていた</li> <li>・あの絵と同じではしを正しく握れていない</li> <li>・マナーを守れていないときがある</li> </ul> <p>本時の活動のねらいを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真やビデオなどを使って、世界の国々の食事の仕方について紹介することにより、食事を手で食べたり、ナイフやフォーク、はしを使って食べたり、国によって食べ方が違うことに気付かせる。</li> <li>・手で食べることに不衛生という印象をもたせないように、日本でもおにぎりや寿司など手で食べていることに気付かせる。</li> <li>・世界の国々と日本との食事の違いについて考えさせることにより、はしが、日本の文化であることに気付かせる。</li> <li>・日本人は、昔からはしを使って食事をしてきたこと、手が器用なのは、はしの文化に関係があるかも知れないことについて説明する。</li> <li>・絵や写真を見せながら説明することにより、自分のはしの持ち方や使い方が正しいかどうか確認させる。</li> <li>・はしを使うときのマナーについても簡単に意識させるようにする。</li> </ul>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     じょうずなはしのつかいかたについてかんがえよう！                 </div>	
活動の展開	<p>正しいはしの使い方について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はしを正しく持つことができた</li> <li>・上の方のはしが、うまく動かない</li> <li>・下の方のはしは、動かさなくてもいいのか</li> </ul> <p>正しいはしの使い方の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小豆をあまり運ぶことができなかった</li> <li>・休み時間も練習してみよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拡大図を見せながら、まず、上のはしの持ち方や動かし方をていねいに教える。次に、下のはしの持ち方を教え、上のはしを動かし、下のはしは固定しておくことを意識させる。</li> <li>・拡大投影機などを使ってはしの握り方や動かし方を映し出すことにより、それを見ながら一人一人の子どもが確認しながら練習できるようにする。</li> <li>・小豆が入っている一方の皿からはしを使って小豆をつまみ、もう一方の皿に移させる練習をさせる。慣れてきたら、ゲーム的に扱うのもよい。皿と皿の間は、5cmが適当である。</li> </ul>

活動の展開	<p>はしを使うときの食事のマナーについて知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろマナーがある</li> <li>・家に帰って家族に教えよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はしを使うときのマナーについて，大きめの絵や写真や動画などを使いながら説明する。また，適当なはしの長さについても知らせる。</li> </ul>
活動のまとめ	<p>本時を振り返るとともに，はしの持ち方や使い方，マナーについて，これからの自分の目標を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これから，下の方のはしを動かさないようにして食べる</li> <li>・マナーを守るようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだことを振り返らせたり，目標を考えさせたりすることにより，食事のときは，正しいはしの持ち方や使い方を意識しながら食べようという意欲を高める。</li> </ul>
備考	<p>事前の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食時間を利用して，児童のはしの持ち方や使い方，マナー等について実態を把握しておく。また，正しいはしの使い方の授業をすることを家庭に知らせておく。</li> </ul> <p>事後の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通信等により家庭に協力を依頼したり，給食時間に個別に指導したりしながら，正しいはしの持ち方や使い方，マナーについての定着を図る。</li> </ul> <p>指導に当たっては，世界の食事と日本の食事の様子とを比較することにより，はしは，日本の大切な食文化であることを知らせたい。また，悪いはしの持ち方や使い方，一緒に食べる相手が受ける印象について紹介したり，はしを使って小豆を皿から皿に移すゲームをさせたりすることにより，正しくはしを使おうとする意欲を高めたい。</p>	